三脚セット VI-B25 取扱説明書

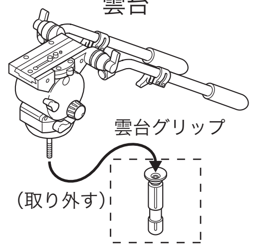
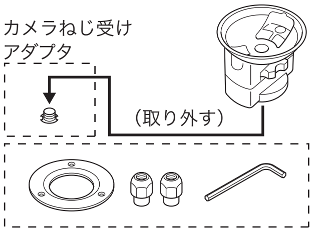
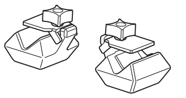
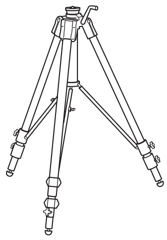
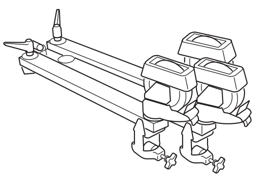
三脚セット VI-B25 は、3 次元デジタイザ VIVID シリーズ用の三脚セットです。
VIVID 9i ／ 910 等の 3 次元デジタイザを取り付けて使用することができます。

⚠ 組み立て作業上の注意

1. 構成部品には、重量があるものが含まれています。 指はさみや落下による足先のケガに注意してください。
2. 無理な体勢での作業とならないようご注意ください。
3. 作業は十分に広いスペースで行ってください。部品を壁に立てかけたりすると転倒する恐れがあります。

本機の構成

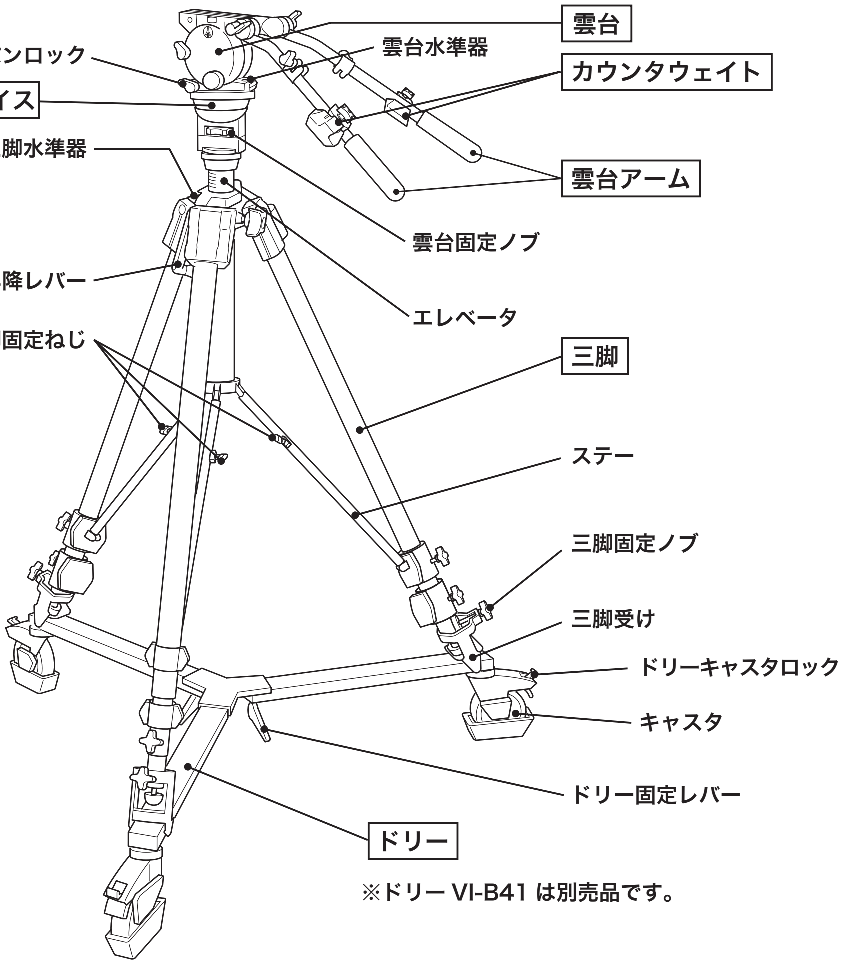
三脚セット VI-B25 は、雲台セット（雲台、ボールインターフェイス、カウンタウェイト）と三脚で構成されています。
それぞれ別の箱で供給されますので、使用前にこれらを組み立てる必要があります。なお、別売品のドリー VI-B41 と組み合わせて使用することもできます。

三脚セット　VI-B25				別売品
雲台セット			三脚	ドリー　VI-B41
雲台	ボールインターフェイス	カウンタウェイト		
				
雲台グリップ (取り外す)	カメラねじ受けアダプタ (取り外す)			

＜準備するもの＞
三脚セットの組み立ての際には、上記の構成部品以外に、φ 3～4 mm用のマイナスドライバが必要です。（ボールインターフェースの固定用）

各部の名称 (組立完成図)

※ドリーを併用する例を記載していますが、
　ドリー VI-B41 は別売品です。

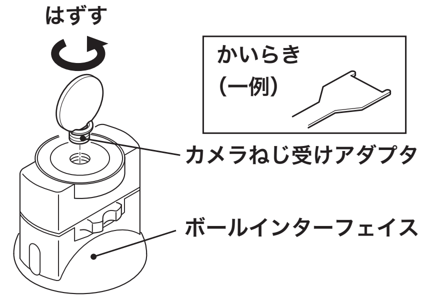


※ドリー VI-B41 は別売品です。

三脚セット VI-B25 組み立て手順

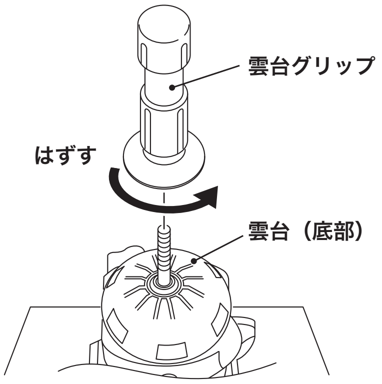
準備

① ボールインターフェイスの底面から、カメラねじ受けアダプタを取り外します。



- 右図のように、カメラねじ受けアダプタを、コイン状のもの、または回螺器（カイラキ）と呼ばれる工具を用いて反時計方向に回し、取り外してください。
- 取り外したカメラねじ受けアダプタは三脚セット VI-B25 では使用しませんので、大切に保管しておいてください。

② 雲台から、雲台グリップを取り外します。

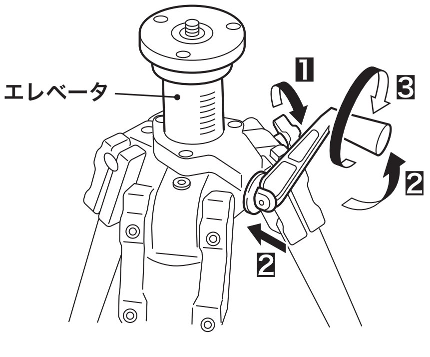


- 右図のように、安定した台の上に雲台を逆さにして置き、雲台グリップを反時計方向に回して取り外してください。
- 取り外した雲台グリップは三脚セット VI-B25 では使用しませんので、大切に保管しておいてください。

---

1. 三脚を広げる

① 脚を伸ばさない状態で適度な幅に三脚を広げます。



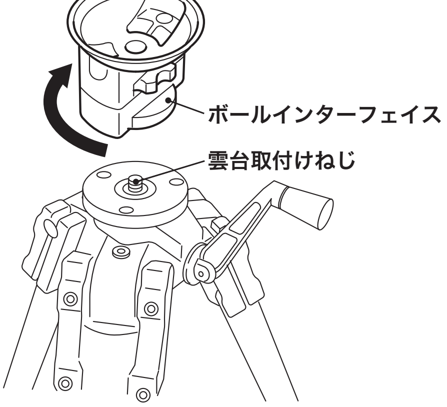
- 三脚固定ねじ 3 箇所で三脚の脚を固定します。
- 安定性確保のため、以下の手順にしたがって、エレベータをいちばん下まで下ろしてください。

（手順）

1. エレベータ固定ねじをゆるめる。
2. ロック部を押し込んでエレベータ昇降レバーを起こす。
3. エレベータ昇降レバーを時計方向に回す。
（雲台取付部が下がります。）

2. ボールインターフェイスを三脚に取り付ける

① ボールインターフェイスを、三脚の雲台取付部に取り付けます。



- ボールインターフェイスを雲台取付部の雲台取付けねじにまっすぐにあてがい、時計方向に回して取り付けてください。

② 雲台取付部の裏面から、マイナス虫ねじ 3 本を締めて、ボールインターフェイスを固定します。

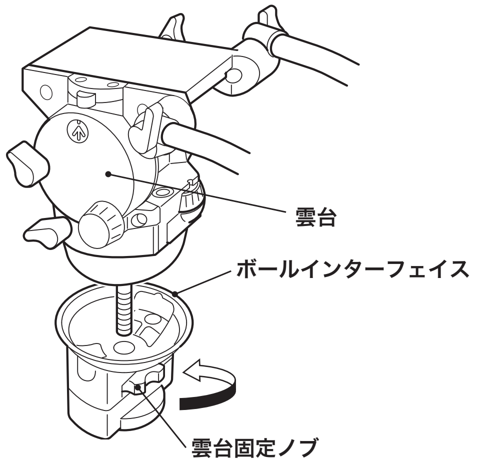
- このとき、雲台取付部をいちばん上まであげておくと作業がし易くなります。雲台取付部を上げるには、エレベータ昇降レバーを反時計回りに回します。
- 作業終了後は、エレベータ昇降レバーを時計方向に回し、雲台取付部を元の高さに戻してください。

3. 雲台を取り付ける

① 雲台底部の取付用ボルトをボールインターフェイスの中央の穴に当てがって差し込みます。

② ボールインターフェイスの雲台固定ノブを反時計方向に回して、雲台を固定します。

- 三脚は、VIVID 本体が安定するように、三本の脚の長さを同じにし、均等に広げて使用してください。
  広げかたが不十分な場合、安定性を失って三脚が転倒し、ケガをしたり機器破損の原因となります。

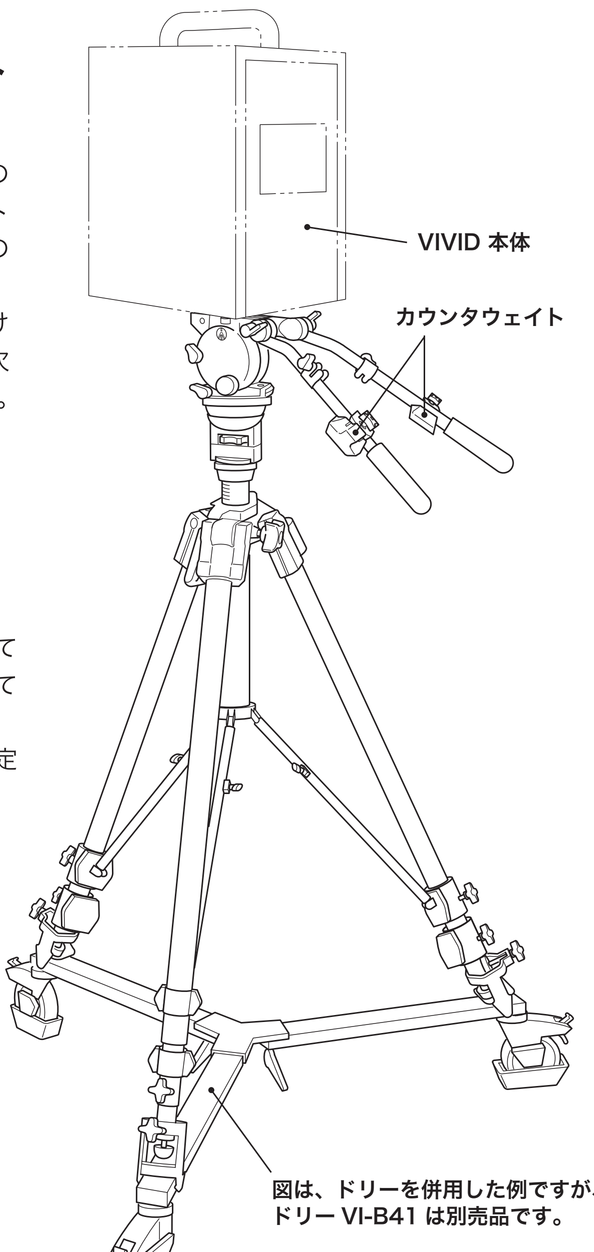


4. 雲台に、VIVID 本体およびカウンタウェイトを取り付ける。

- VIVID 本体の雲台への取り付け・取り外し方法、雲台アームへのカウンタウェイトの取り付け・取り外し方法、および、三脚セットを使用した VIVID での測定方法については、別紙「三脚使用時のご注意（バランス調整）」をご参照ください。
- 別売品のドリー VI-B41 を使用する場合は、VIVID 本体を取り付ける前に三脚をドリーにのせてください。ドリーの使用方法は、次ページ「 ドリー VI-B41 を使用する場合」の項をご参照ください。

5. 組み立て完了（測定前の最終確認）

- 三脚、雲台等各部の取り付けにゆるみやガタがないか、再確認してください。ゆるみやガタがある場合は、再度しっかりと締め付けてください。
- 前傾姿勢にしても不安定にならないか、確認してください。不安定になりそうな場合は、脚の幅を広げてください。



図は、ドリーを併用した例ですが、ドリー VI-B41 は別売品です。

別売品 ドリー VI-B41 を使用する場合

⚠ 使用上の注意

- 測定中は、三脚の不用意な移動を避けるために、ドリーキャスタロックを掛けて使用してください。
- ドリーに足をかけたり、上に乗ったりしないでください。転倒やケガ、破損の危険があります。
- ドリー使用中に移動する場合は、ドリーキャスタロックを解除してゆっくりと移動してください。急激な移動は、段差や障害物などにキャスタが引っ掛かり、転倒するおそれがあります。
- 毛足の長いカーペット上などでは、キャスタの動きが悪くなることがあります。

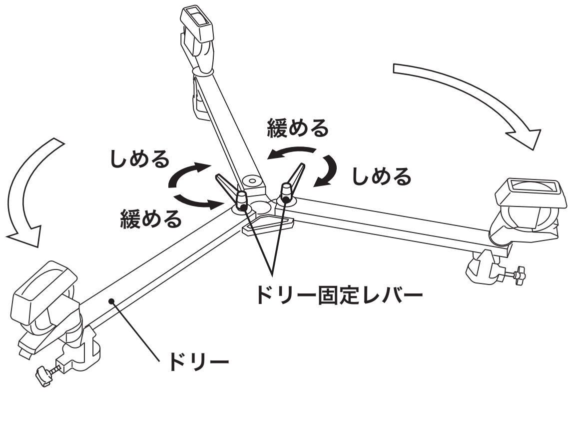
1. ドリーの組み立て

① ドリーを図のように置き、可動脚の２つのドリー固定レバーを反時計方向に回して適度に緩めます。

- 緩めすぎると、ドリー固定レバーが外れて脱落しますのでご注意ください。

② ドリー固定レバーのついている可動脚２本を図のように広げて固定します。

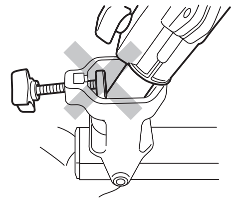
- 広げた可動脚２本がガイド溝にしっかりはまっていることを確認し、ドリー固定レバーを時計方向に回して固定してください。
- キャスタが接地するように、ドリーを裏返してください。

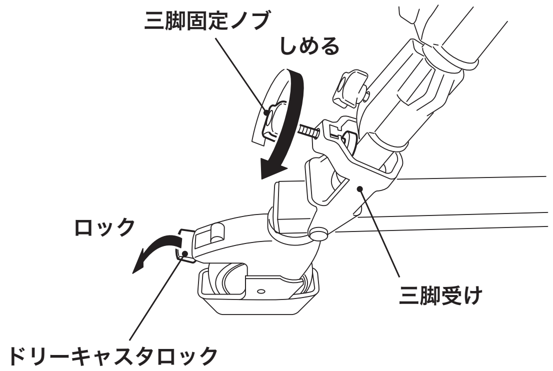


2. ドリーに三脚をのせる

① ドリーの３箇所の三脚受けに、三脚の３本の脚をそれぞれはめて固定します。

- ドリーキャスタロックを掛けて作業を行ってください。
- 三脚固定ノブを緩め、三脚の脚（3 箇所）が三脚受けに入る状態にしてから、三脚の脚 3 本をはめてください。
- 三脚の脚と三脚固定ノブは垂直の位置関係になるように調整してから、三脚固定ノブで固定してください。





ご使用の前に　[必ずお読みください]

⚠ 注意

- ご使用前に、各結合部が緩んでいないかをご確認ください。緩みを生じている場合は、増し締めをして固定してください。
- 部品に亀裂や大きな曲がりなどを生じている等、具合の悪い部分がある場合は、そのまま使用せずに、「サービスのご案内」に記載のお問い合わせ窓口にご相談ください。
- 水平で平らな堅い床面上でご使用ください。床面が歪んでいる場所や傾いている場所では、不安定になることがあります。
- 三脚を移動する場合は、必ず VIVID 本体を取り外してから行ってください。VIVID 本体を取り付けたまま移動すると、転倒して、ケガや機器破損の原因となります。
- 三脚や雲台に寄りかかったりもたれたりしないでください。
- 可動部の動作が悪いなど異常を生じたときは、「サービスのご案内」に記載のお問い合わせ窓口にご相談ください。
- 雲台のチルトロックレバー、パンロックレバーは、締めすぎると破損することがありますので、ご注意ください。
- 本機部品を紛失または破損したときは、市販品で代用せず、「サービスのご案内」に記載のお問い合わせ窓口にご相談ください。市販品を代用すると、強度不足等により、本機が破損したり、ケガをする危険があります。

コニカミノルタ センシング株式会社